

21 財 第 3 4 7 7 号
平成 2 1 年 1 0 月 3 0 日

各 部 (局) 長
県 議 会 事 務 局 長
教 育 長 様
警 察 本 部 長
各 委 員 (会) 事 務 局 長

総 務 部 長

平成 2 2 年度当初予算の編成について (依命通達)

本県財政は、財政構造改革プログラムに基づき、あらゆる工夫による歳入確保と歳出の抜本的な見直しに取り組みながら、徹底した行財政改革を進め、歳入に見合った収支均衡型の財政構造の確立に取り組んでいるところである。

しかしながら、昨年秋以降の急激な景気の後退により、県税収入等が更に減少する見通しにあることに加え、国において自動車関係諸税の暫定税率の廃止など、地方の財政運営に大きく影響する大規模な制度見直しが進められており、平成 2 2 年度の歳入確保は、引き続き厳しい状況になることが見込まれる。

また、国においては、政権公約に掲げられた新たな施策の実現に必要な経費を概算要求に盛り込むとともに、その財源捻出に向けて、既存の予算をゼロベースで厳しく見直すこととしていることから、地方交付税や国庫支出金などの地方関連予算の仕組みについても大きく変わることが想定される。

このため、今後も経済情勢や国の予算編成、税制改正等の動向を注視しながら十分に情報収集を行い、本県の歳入・歳出予算に適切に反映させることを基本とし、厳しい財政状況にあっても、部局連携の下、知恵と工夫を最大限に発揮して、県民生活の安全・安心の確保を最優先に、現下の厳しい経済・雇用情勢に的確に対応しながら、新しい総合計画に基づき重点的に取り組むべき課題にも戦略的に対応し、重点的・優先的に予算を配分できるよう取り組んでいくこととする。

平成 2 2 年度当初予算の要求に当たっては、以上の状況を十分に認識するとともに、「平成 2 2 年度当初予算編成方針」に基づき見積書を提出するよう、命により通達する。

(事務担当 財政課 財政企画担当 内線 2 0 1 9)

平成22年度 当初予算編成方針

平成21年10月30日 福島県

基本的な考え方

平成22年度の予算編成は、**財政構造改革プログラム**における『緊急対応期間』の2年目に当たり、引き続き、あらゆる工夫による歳入確保に取り組むとともに、事務事業の効率的執行や整理合理化、人件費の抑制など、行財政改革を徹底し、**本県財政が持続可能な財政構造を確立**できるよう最大限に努力していくこととする。

《 財政見通し 》

- ・景気の低迷により、県税収入等が、引き続き大幅に減少
- ・財源調整のための主要基金が大幅に減少し、その活用が困難
- ・社会保障関係経費は更に増加

極めて厳しい財政状況にあっても、**知恵と工夫を最大限に発揮**して、県民生活の安全・安心の確保を最優先に、国の平成21年度補正予算等で造成した基金を有効に活用しながら**現下の厳しい経済・雇用情勢等に的確に対応**した予算編成を行うこととする。

新しい総合計画に基づく**重点的に取り組むべき課題**については、**別途指示するところにより予算を重点的・優先的に配分**する。

国においては、新たな施策を実現するために、大規模な制度の見直しや予算の組み替えを進めているところであるが、国の予算編成や税制改正等の動向を注視しながら十分な情報収集に努め、**本県の歳入・歳出予算に適切に反映**させていくこととする。

当初予算は、年度間の見通しに立って編成するものとし、**年度途中における予算補正は原則として行わない**こととする。

各部局の予算編成に当たっては、県民ニーズを的確に踏まえた上で、**既存事業の再構築・重点化を図る**こととし、各部局の取組みについても分かりやすく公表することとする。

新しい総合計画 - 現在検討中の内容 -

～ めざす将来の姿 ～

<ふくしまの礎(いしずえ)>

人と地域が輝く「ふくしま」

ふくしまを支える3本の柱

- ・いきいきとして活力に満ちた「ふくしま」
- ・安全と安心に支えられた「ふくしま」
- ・人にも自然にも思いやりにあふれた「ふくしま」



これらの実現のため重点的に取り組むべき施策を体系的に配置するとともに、この体系を横断して施策を組み合わせた戦略的な取組みを推進

具体的な取組み

地域の声の反映と部局横断の取組み

事業の構築に当たっては、**地域住民等の声を県の施策に適切に反映させることができるよう**、市町村や関係団体、国、県の出先機関等と緊密な連携を図ること。

また、部局や課の枠組みにとらわれることなく、**組織横断的な視点で連携**を図り知恵と工夫を最大限に発揮すること。

事業を見直す際には、関係する市町村や団体等に対して**適切な時期に丁寧な説明**を行い、十分な理解を得ることができるよう努めること。

県民生活の安全・安心の確保と経済・雇用対策

国の平成21年度補正予算等に伴い造成した各種の基金を最大限に有効活用し、引き続き、**県民生活の安全・安心を確保する対策**や**経済・雇用対策**を講じていくこと。

経済・雇用対策については、**経済、雇用の情勢に応じて、特に機動的に対応**すること。

国の予算編成等に係る情報の収集

国においては、現在、既存の予算をゼロベースで厳しく見直すとともに、地方の財政運営にも大きく影響する大規模な制度見直しを進めているが、担当部局が主体となって**積極的に情報収集**を行い、**関係課及び財政課との緊密な連携**の下、適切な予算見直しを行うこと。

要求の上限値の設定・予算の再調整

要求の上限値は、**現時点における最大限の歳入**を見込んだ上で示すものであることから、これを超える要求は認められないので、各部局において**要求内容を十分調整**し、見積書を提出すること。

各部局が要求する予算の上限値及び見積書の提出期限については、別途通知するものとする。

今後の経済情勢や国の予算編成、税制改正等の動向によって、現在の「歳入・歳出見込み」に大きな異動が生じる場合は、**予算の再調整**を行うこととする。

更なる行財政改革の取組み

歳入確保の取組み

県債については、財政健全化判断比率の状況に十分注意を払いながら、行財政改革の取組みに応じて発行することができる**行政改革推進債等を最大限に有効活用**するなど、より有利な県債の活用を図るとともに、**適切な県債管理**によって後年度負担の軽減に努めること。

景気の低迷による低金利が続く中、**特定目的基金の運用益**は、貴重な財産収入であることから、一般財源として広く活用できるよう、基金設置条例の改正も含め**積極的な活用**を検討すること。

福島県県有財産最適活用計画（ファシリティマネジメントプラン）に基づき、**県有財産の計画的かつ積極的な活用・処分を推進**するとともに、一括契約の手法を更に取り入れるなど、ファシリティコスト（施設、設備等の維持管理に要する経費）の縮減等に努めること。

歳出の見直し

既存事業に対する**県民等からの評価・意見を適切に反映**させ、より高い効果を得ることができるよう取り組むこと。

内部管理経費の節約や事務事業の効率的執行を図ることはもとより、県と市町村、県と民間団体等の**適切な役割分担、必要性・妥当性の観点から、事業をゼロベースで見直す**こと。

事業の必要性・緊急性及び費用対効果の視点から積極的に統合・廃止を行うとともに、**部局横断的視点から整理・合理化を進め、より効率的な事業体系を構築**すること。

市町村においても、県と同様に厳しい財政状況にあることから、職員の知恵と工夫を最大限に発揮して、**人的資源を生かした市町村等支援の推進**に努めていくこと。

事務事業の見直し等を更に進めながら**厳格な定員管理**に努め、**人件費の更なる抑制**を図ること。

平成22年度当初予算の編成について(イメージ)

【予算の重点配分】

現在策定中の新しい総合計画に基づき、特に重点的に取り組むべき課題に対応して、体系的に施策を展開する。

